平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月29日

上場会社名 沖電線株式会社　　上場取引所　東
コード番号 5815　URL　http://www.okidensen.co.jp/
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 来住 晶介
問合せ先責任者　(役職名) 取締役総合企画室長　(氏名) 河合 晃　TEL 044-766-3171
四半期報告書提出予定日　平成26年2月13日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　無
四半期決算説明会開催の有無　:　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	7,752	6.4	227	—	316	—	286	—
25年3月期第3四半期	7,284	△13.3	△4	—	18	△83.4	2	△96.1

(注)包括利益　26年3月期第3四半期　434百万円　(—%)　25年3月期第3四半期　△6百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	7.68	—
25年3月期第3四半期	0.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	12,572	8,987	71.5	241.19
25年3月期	12,366	8,553	69.2	229.52

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期 8,987百万円　25年3月期 8,553百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—		
26年3月期(予想)				2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,600	10.1	250	—	350	436.1	300	—	8.05

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無
新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
②①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	38,990,870 株	25年3月期	38,990,870 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	1,727,157 株	25年3月期	1,725,840 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	37,264,083 株	25年3月期3Q	37,265,752 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は完了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページの「（3）連結業績予想などの将来情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安を背景に企業業績は改善し、輸出関連、設備投資の回復、個人消費も緩やかに増加するなど景気回復の兆しがみえました。

電線業界における銅電線出荷量は、建設・電販部門が復調し、自動車、電気機械部門については復調の兆しがあり、全体では前年同期を上回る状況で推移してまいりました。

そのような状況のもと、当社グループは、安定的な収益力の確保に向けて、営業力の強化、顧客層の拡充、新商品の開発、新規市場へのアプローチ、生産効率の改善、海外生産委託などを進めてまいりました。

売上高につきましては、電線・ケーブルおよび電極線セグメントが増加いたしました。この結果、前年同期に比べ468百万円増の7,752百万円となりました。

営業利益につきましては、銅価格の上昇によるコストの増加がありましたが、売上高の増加、変動費比率の低減、減価償却費および人件費などの固定費の減少により前年同期4百万円の損失に対し227百万円の利益となりました。経常利益は円安による為替差益も加わり前年同期18百万円に対し316百万円となりました。四半期純利益は前年同期2百万円に対し286百万円の利益となりました。

セグメントの業績につきましては、以下のとおりであります。

［電線・ケーブル］

売上高につきましては、機器用電線やワイヤーハーネスが産業用機械メーカー向けに増加し、フレキシブル基板が医療機器向けなどに増加したため、前年同期に比べ356百万円増の5,541百万円となりました。

営業利益につきましては、銅価格の上昇によるコストの増加がありましたが、売上高の増加、変動費比率の低減、減価償却費および人件費など固定費の減少により前年同期100百万円の損失に対し133百万円の利益となりました。

［電極線］

売上高につきましては、販売数量はほぼ前年同期並みとなりましたが、黄銅価格の上昇により販売価格が押し上げられたこともあり、前年同期に比べ124百万円増の1,916百万円となりました。

営業利益につきましては、販売費の増加により、前年同期58百万円の損失に対し62百万円の損失となりました。

［不動産賃貸］

売上高につきましては、前年同期に比べ12百万円減の294百万円となりました。

営業利益につきましては、前年同期に比べ2百万円増の156百万円の利益となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

総資産は12,572百万円となり、前連結会計年度末に比べ205百万円増加しました。

流動資産は7,765百万円となり、前連結会計年度末に比べ174百万円増加しました。これは主に売上高の増加により受取手形及び売掛金が増加したためであります。

固定資産は4,806百万円となり、前連結会計年度末に比べ31百万円増加しました。これは主に投資有価証券の時価が上がり投資その他資産が増加したためであります。

負債合計は3,584百万円となり、前連結会計年度末に比べ229百万円減少しました。

流動負債は2,108百万円となり、前連結会計年度末に比べ175百万円減少しました。これは主に買掛金、未払費用が減少したためであります。

固定負債は1,476百万円となり、前連結会計年度末に比べ53百万円減少しました。これは主に退職給付引当金が減少したためであります。

純資産合計は8,987百万円となり、前連結会計年度末に比べ434百万円増加しました。これは主に利益剰余金およびその他有価証券評価差額金が増加したためであります。

自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.3ポイント良化し71.5％となりました。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは105百万円の支出となりました。これは税金等調整前四半期純利益314百万円や減価償却費274百万円などの収入があったものの、売上高の増加により売上債権は252百万円増加、未払費用・長期未払金の減少などの支出が上回ったためであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは17百万円の支出となりました。これは償還までの期間が３ヶ月を超える運用有価証券の減少98百万円などの収入があったものの、有形固定資産の取得127百万円などの支出が上回ったためであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは0百万円の支出となりました。

その結果、現金及び現金同等物は当第３四半期累計期間中に92百万円減少し2,090百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年10月30日に公表しました平成26年3月期通期連結業績予想値を修正しております。詳細は本日公表の「平成26年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は様々な要素により、これらの業績予想とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,333,173	2,440,573
受取手形及び売掛金	2,984,766	3,248,396
有価証券	700,838	402,613
商品及び製品	590,749	606,764
仕掛品	417,522	465,430
原材料及び貯蔵品	249,595	258,574
その他	315,818	344,451
貸倒引当金	△1,260	△1,350
流動資産合計	7,591,204	7,765,455
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,331,652	2,220,138
土地	1,403,252	1,403,252
その他（純額）	546,629	524,841
有形固定資産合計	4,281,534	4,148,232
無形固定資産	48,692	27,712
投資その他の資産		
その他	451,873	635,968
貸倒引当金	△6,455	△5,028
投資その他の資産合計	445,418	630,939
固定資産合計	4,775,645	4,806,885
資産合計	12,366,850	12,572,340
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,353,152	1,293,624
短期借入金	190,000	190,000
未払法人税等	29,097	31,827
その他	711,496	592,872
流動負債合計	2,283,747	2,108,325
固定負債		
退職給付引当金	1,104,858	1,045,477
その他	425,154	430,818
固定負債合計	1,530,013	1,476,295
負債合計	3,813,761	3,584,620
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,304,793	4,304,793
資本剰余金	3,101,531	3,101,531
利益剰余金	1,571,466	1,857,692
自己株式	△505,690	△506,019
株主資本合計	8,472,100	8,757,997
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	87,853	222,748
為替換算調整勘定	△6,865	6,973
その他の包括利益累計額合計	80,988	229,722
純資産合計	8,553,088	8,987,719
負債純資産合計	12,366,850	12,572,340

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	7,284,172	7,752,247
売上原価	5,803,421	6,038,564
売上総利益	1,480,750	1,713,683
販売費及び一般管理費		
給料手当及び福利費	807,722	792,177
退職給付費用	41,926	30,920
役員退職慰労引当金繰入額	7,954	－
貸倒引当金繰入額	2,797	82
その他	625,063	662,847
販売費及び一般管理費合計	1,485,464	1,486,027
営業利益又は営業損失（△）	△4,713	227,655
営業外収益		
受取利息	2,796	1,967
受取配当金	10,850	9,587
為替差益	10,282	69,994
その他	2,952	10,209
営業外収益合計	26,882	91,760
営業外費用		
支払利息	2,769	2,630
その他	1,130	656
営業外費用合計	3,899	3,287
経常利益	18,269	316,128
特別利益		
固定資産売却益	1,035	1,126
投資有価証券売却益	4,000	－
特別利益合計	5,035	1,126
特別損失		
固定資産処分損	1,926	2,341
特別損失合計	1,926	2,341
税金等調整前四半期純利益	21,378	314,912
法人税、住民税及び事業税	13,827	23,371
法人税等調整額	4,699	5,441
法人税等合計	18,526	28,812
少数株主損益調整前四半期純利益	2,851	286,099
四半期純利益	2,851	286,099

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	2,851	286,099
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,328	134,894
為替換算調整勘定	1,187	13,838
その他の包括利益合計	△9,140	148,733
四半期包括利益	△6,288	434,833
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,288	434,833

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	21,378	314,912
減価償却費	329,299	274,376
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△51,727	△59,381
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△125,470	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	582	△1,337
売上債権の増減額（△は増加）	386,661	△252,446
たな卸資産の増減額（△は増加）	△86,548	△67,084
仕入債務の増減額（△は減少）	△253,237	△72,293
その他	43,631	△233,018
小計	264,569	△96,272
利息及び配当金の受取額	13,620	11,759
利息の支払額	△3,048	△2,981
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△18,140	△18,481
営業活動によるキャッシュ・フロー	257,001	△105,976
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の純増減額（△は増加）	△459	98,284
有形固定資産の取得による支出	△196,445	△127,836
無形固定資産の取得による支出	△5,707	△2,126
定期預金の純増減額（△は増加）	△250,000	－
その他	7,608	14,602
投資活動によるキャッシュ・フロー	△445,003	△17,074
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の純増減額（△は増加）	△202	△202
配当金の支払額	△73,875	△128
財務活動によるキャッシュ・フロー	△74,078	△331
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,787	30,842
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△255,292	△92,539
現金及び現金同等物の期首残高	2,349,402	2,183,119
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,094,110	2,090,579

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	電線・ケーブル	電極線	不動産賃貸	合計
売上高				
外部顧客への売上高	5,184,874	1,792,648	306,648	7,284,172
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―
計	5,184,874	1,792,648	306,648	7,284,172
セグメント利益又は損失（△）	△100,174	△58,472	153,933	△4,713

（注）セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	電線・ケーブル	電極線	不動産賃貸	合計
売上高				
外部顧客への売上高	5,541,512	1,916,719	294,016	7,752,247
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―
計	5,541,512	1,916,719	294,016	7,752,247
セグメント利益又は損失（△）	133,417	△62,578	156,817	227,655

（注）セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。